

就活クエスト in OSAKA 2021 第3弾 実施報告

テーマ: 大阪の企業活動 -大阪で、経済を回す！-
実施期間: 2022(令和4)年3月5日(土)13:00~15:30(DAY1)、3月8日(火)13:00~15:30(DAY2)
実施場所: DAY1:大阪企業家ミュージアム(大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館B1)
 DAY2:オンライン(Zoom)
講師: 大阪商工会議所 人材開発部長 興津 厚志氏
 株式会社大林組 設計本部 大阪建築設計第3部 部長 石井 眞由美氏
 南海電気鉄道株式会社 社長室 ブランド統括部 部長 渡辺 幸代氏
ファシリテーター: 大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当 課長 本 奈美氏
参加学生数: 7大学12名
 (大学別) 大阪市立大学1名、追手門学院大学1名、大阪経済大学3名、大阪産業大学1名、
 大手前大学1名、四天王寺大学2名、相愛大学3名
 (学年別) 1年生:6名/2年生:4名/3年生:2名
企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員会

1.事業趣旨:

オンラインツールを活用してバラエティに富んだ体験・成長のための表現(アウトプット)機会を提供し、学生における学修の深化および新たな学習意欲、そして実社会や「働くこと」に対する興味・関心を喚起させる。それにより、将来に対する選択肢の増幅および多角的・俯瞰的視点の獲得、自己理解に基づく主体的な職業選択や高い職業意識の涵養を目指し、ひいては自主性・独創性あるグローバル人材の育成に貢献することを目指す。

2.プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
3月5日(土) 13:00~15:30 大阪企業家 ミュージアム にて	DAY1	・講演 :大阪の企業活動とその歴史 「大阪の名だたる企業家には、こんな先見の明があった！」 ・大阪企業家ミュージアム見学 ・グループワーク
3月8日(火) 13:00~15:30 Zoom にて	DAY2	・講演およびトークセッション :大阪の企業人から学ぶ「多様な働き方」 ・グループワーク ・グループ発表とフィードバック

【DAY1】

〔講演〕

■興津講師

「大阪の企業活動とその歴史」～大阪の名だたる企業家には、こんな先見の明があった！～近代～現代に至る歴史を振り返り、大阪の名だたる企業家の先見の明を生かした考え方やあり方を紹介。過去を踏まえ、来る新しい時代に何が求められるのかについて、質疑応答を交えながら模索した。



大阪企業家ミュージアムにて

【DAY2】

〔講演およびトークセッション〕

■石井講師

1914年に大阪で創業された株式会社大林組において、一貫して大阪でキャリアを築いてきた。社員アンケートによると、会社への満足度は平均値を超え、過ごしやすい社風であると言えるが、全社員に占める女性の割合は16%、自らが入社した頃はさらに男社会で格差が存在した。この中で建築設計を担当しながら、一級建築士の資格を取得、出産を経て、建築設計部 課長、部長を歴任するなどキャリアは築けているように見えるが、途中、支援部門への異動や、プライベートでの問題も生じ、辛い思いもした。2018年、大阪サクヤヒメ表彰を受けたことを契機に、社外との繋がりが増え、第3のコミュニティの存在意義に気づいた。現在は、社内でも社員が働きやすい企業を目指すネットワークを有志数人で立ち上げ、活動している。昔は大企業なら安泰という明確な基準があったが、今は安泰ということもなく、価値観も多様化している。特定の会社で働くことを目指すより、興味を持って取り組める仕事を探してほしい。そのために、何かを一生懸命やる中で、面白いな、ピンと来るなと思うことがあれば、何がその要素なのかを分析してほしい。

■渡辺講師

南海電気鉄道株式会社 社長室 ブランド統括部に所属し、企業ブランドの向上戦略を練っている。富山県出身で関東の大学に進学、卒業後、グンゼ株式会社に入社し、東京にて営業職を6年間経験。その後、ストッキングの商品企画に抜擢され、大阪に転勤。当時、男性しかいなかった企画部門においてヒット商品を生み出し、忙しくも爆発的に楽しいと感じる日々を送った。出産後、育休を経て、広報部門に復帰し6年間勤務。このとき、会社の姿勢や経営方針を広報することに面白さを感じるようになった。その後、再度、東京への異動が決まり、小学生の息子を連れてお客様相談室に赴任。このとき、南海電気鉄道株式会社よりブランド戦略を担当する人材として声がかかり転職。大阪に戻り、現職に就いた。女性活躍の草分け的な女性たちは、言うならばブルドーザー

だった。先鞭をつけるため尽力する必要があったからだが、今の女性たちはそれと同じ働き方はしなくてよい。自由に自分が幸せになるような働き方をしてほしい。そのためには自分にとって何が一番大切なのかを見極めてほしい。与えられた目の前の仕事を着実にこなすことで、次のステップがやってくる。



3.参加者アンケート 別紙のとおり

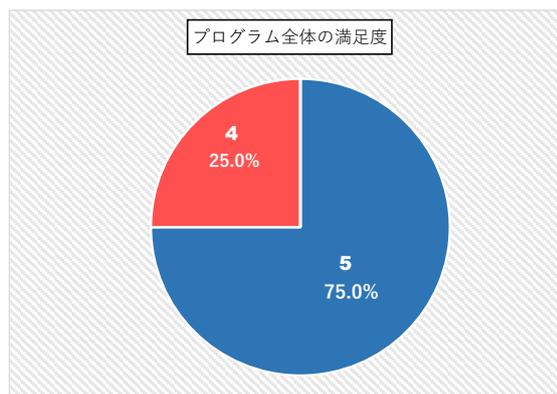
就活クエスト in Osaka 2021 第3弾 参加者アンケート

参加者・回答者数 7大学 12名

1. プログラム全体の満足度

(単位:名)

5	(満足)	9
4	↑	3
3	↓	0
2		0
1	(不満)	0



2. 上記と回答した理由

【満足度5】

- ・今後参考になる知識や言葉を頂けた。
- ・チームで話す機会があった。
- ・グループディスカッションでの案をまとめることをしなかつたのでとてもいい機会だった。まとめる力、グループの仲の良さや質問の趣旨を理解する事など大切な事がわかつた。
- ・大阪の経済の仕組みや、グループワークで言語化していくことで、自分自身の考えがまとまった。
- ・話を聞くだけでなくグループワークがあつたりと、プログラムの時間配分がちょうど良かった。
- ・聞きたかつたことが聞けた。
- ・実際にお話を聞いて社会に対して具体的なイメージを膨らますことができた。
- ・さまざまな起業家の話を聞くことができた。また、社会人の人から仕事についてなどさまざまな話を聞くことができて良かった。

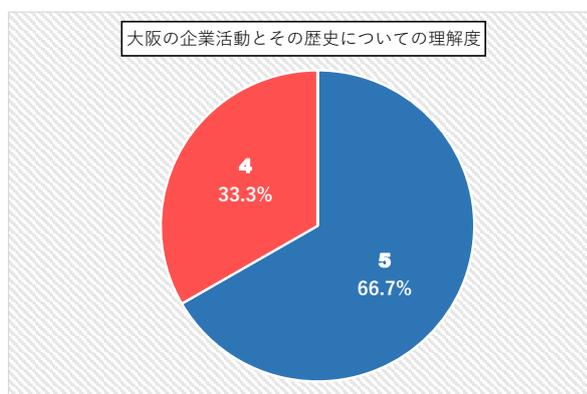
【満足度4】

- ・グループで考える時間があつた。
- ・実際に働いている人や、昔の企業人の貴重な話を聞けた。
- ・大変勉強になったが思っていたよりも小規模だつた。

3. 大阪の企業活動とその歴史についての理解度

(単位:名)

5	(理解できた)	8
4	↑	4
3	↓	0
2		0
1	(理解できなかった)	0



4. 上記と回答した理由

【理解度5】

- ・今ある大企業の歴史やこの生きやすい時代があるのは、昔の社長さんたちが苦勞して築きあげた成果なのだと実感した。
- ・様々な名言等を知れた。
- ・企業の歴史を分かりやすく教えて頂いた。
- ・ミュージアムの詳しい解説を読んだことで理解できた。

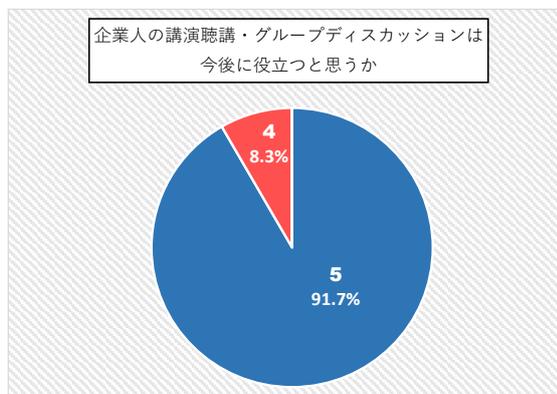
【理解度4】

- ・スライドと説明が分かりやすく、有名企業の創設の経緯や歴史を深く知ることができた。
- ・企業家ミュージアムに展示されている全員のことは理解できなかったが、何人かの生い立ちや信念について知れた。
- ・説明が丁寧でわかりやすかつた。

5. 企業人の講演聴講・グループディスカッションは今後に役立つと思うか

(単位:名)

5	(役立つと思う)	11
4		1
3		0
2		0
1	(役立つと思わない)	0



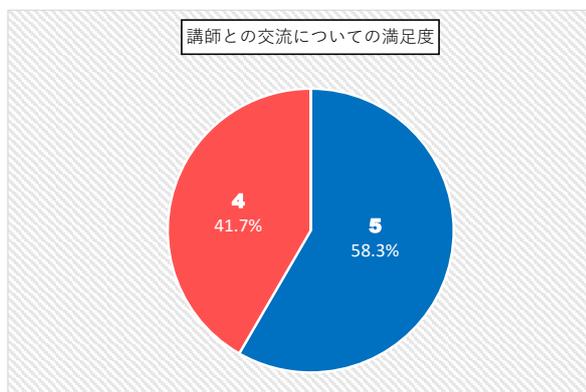
6. 上記と回答した理由

- ・ファシリテーターや発表の経験が、今後似たような面接等があったときに役立つと思った。
- ・ファシリテーターや人の意見をまとめる役割を初めてやってみて、他の人の話を鵜呑みにするのではなく、自分の言葉で分かりやすく解釈することで、自分自身に吸収され、メモ係や発表者の方などにも分かりやすく伝わる。そうした経験を楽しいと感じ、これからもやりたいと思えた。
- ・自分の意見を言葉にすることが苦手なので、これを克服するいい機会になった。
- ・自分以外の人の考えや意見が聞けて物の見方が広がった。
- ・他校の学生と交流することができたので、とても良い機会になった。

7. 講師(大阪商工会議所や企業人)との交流についての満足度

(単位:名)

5	(満足)	7
4		5
3		0
2		0
1	(不満)	0



8. 上記と回答した理由

【満足度5】

- ・質問する時間があつた。
- ・スムーズに色々な事を分かりやすく教えて頂いた。

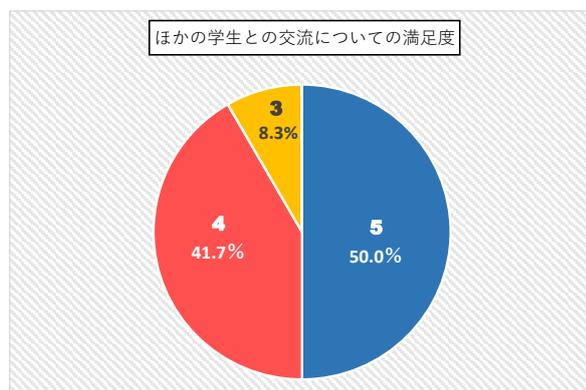
【満足度4】

- ・2日目、社会人の方のお話を聞く機会はありませんので貴重な時間だった。
- ・直接、企業の方や商工会議所の方と話す時間、機会が欲しかった。

9. ほかの学生との交流についての満足度

(単位:名)

5	(満足)	6
4		5
3		1
2		0
1	(不満)	0



10.上記と回答した理由

【満足度5】

- ・自分とは違う価値観が学べた。
- ・わけへだてなく話すことができた。
- ・他の学生と仲良くなり、不安だった就活のことを話すことができた。

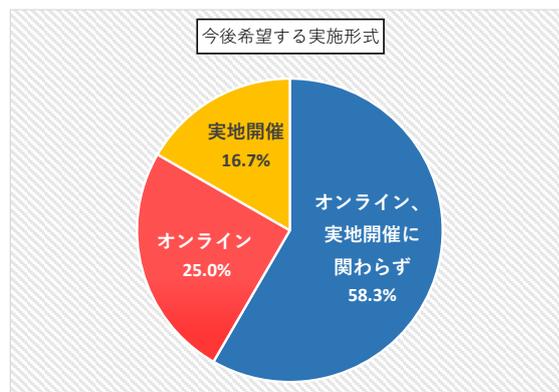
【満足度4・3】

- ・グループが固定の為、話がしやすかったが、交流が少なかったと思った。
- ・初対面の学生と強制的に話すことによって、人見知り解消や、人と話すことの大切さ、楽しさが分かった。
- ・こういうイベントが初めてであまり発言できなかった。

11.今後希望する実施形式

(単位:名)

オンライン、実地開催に関わらず	7
オンライン	3
実地開催	2



12.上記と回答した理由

【オンライン、実地開催に関わらず】

・オンラインの方が声が聴きやすい、交通費も時間もかからないというメリットがあるが、仲良くなった後、連絡交換出来ないのも、同じ意識を持った仲間と繋がりにくい。対面では、グループでの発言が聴こえずらい点と席が離れていたのでは話しにくい点から、仲良く楽しくという点においてデメリットがあった。

・コロナ禍に慣れてしまい、少し、交通費をかけて対面で行くことが面倒。しかし、人との関わりが少ない世の中で、少しでも人と繋がるのは大切だと思う。

【オンラインを希望】

- ・オンラインの方が楽。今後オンラインでの企業説明会等があったときに役立つ。
- ・オンラインだと交通費が必要ない。

【実地開催を希望】

- ・ウェブだと物足りない。
- ・オンラインよりも実際に会って話す方が話しやすい。

13.今後、取り上げてほしい業界や職種

- ・衛生業界
- ・玩具業界
- ・食品業界
- ・裏方の仕事(下請けなど)
- ・あるひとつの業界に絞った、業界研究のようなお話があれば良い。

14.その他、プログラムの感想・意見

- ・人の人生に何があったのか知る機会がなかったので、不安が減った。
- ・ネットだけと向き合うのではなく、グループワーク、人と話すことの大切さを学んだ。
- ・講師の方や他の参加者の意見を聞き、自分の価値観が広がった。